

連結ベース

損益状況

(単位:百万円)

科 目	平成22年度中間期	平成21年度
経 常 収 益	60,161	118,332
経 常 費 用 ()	55,548	112,274
経 常 利 益	4,613	6,057
中間(当期)純利益	5,199	2,845

経営環境

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、夏頃までは、企業収益・個人消費とも持ち直し基調を続けたものの、夏以降、円高や株安などを背景に、改善の動きは弱含みの展開となりました。

輸出や生産は、新興国・資源国経済を中心に増加を続けていますが、海外経済の成長ペースの鈍化とともに、増加ペースは鈍化しています。雇用・所得環境は、企業活動が活発化するにつれてその厳しさは幾分和らいだとはいえ、引き続き厳しい状況にあります。個人消費は、特に夏には、エコカー補助終了前の駆け込み需要や猛暑の影響により一時的に増加しました。設備投資は、企業収益の改善とともに持ち直しに向かったものの、過剰感が依然として残ることなどから、増加に弾みがつきにくい状態が続いています。住宅投資は、借入金利が一段と低下する中、在庫や価格の調整が進んだことを背景に、下げ止まりました。

物価動向は、需給バランスの緩やかな改善により、下落幅が縮小しています。

金融面については、短期金融市場では、日本銀行による潤沢な資金供給のもと、無担保コールレート(翌日物)は0.1%近傍で推移しました。長期金利は、円高の進行や海外経済の減速懸念の中、低下傾向を続けました。株価は、米欧株価が回復する中でも、円高の進行などを受けて上値の重い展開で推移しました。

単体ベース

損益状況

(単位:百万円)

科 目	平成22年度中間期	平成21年度
営 業 収 益	6,263	6,971
営 業 費 用 ()	481	543
営 業 利 益	5,782	6,428
経 常 利 益	5,705	5,944
中間(当期)純利益	5,703	5,955

業績の概要

当社グループ連結業績につきましては、当中間連結会計期間の経常収益は、資金運用収益375億9百万円、役務取引等収益87億2百万円、その他業務収益74億63百万円及びその他経常収益64億87百万円を計上し、601億61百万円となりました。また、経常費用は、資金調達費用69億27百万円、役務取引等費用24億64百万円、その他業務費用1億24百万円、営業経費286億24百万円及びその他経常費用174億7百万円を計上し、555億48百万円となりました。

以上の結果、経常利益は46億13百万円となり、償却債権取立益等の特別損益計上後の税金等調整前中間純利益は52億29百万円となりました。また、法人税等合計81百万円並びに少数株主損失51百万円を計上後の中間純利益は51億99百万円となりました。

当社単体業績につきましては、子銀行からの受取配当金を中心に営業収益は62億63百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費の営業費用を4億81百万円計上したことから、営業利益は57億82百万円となりました。また、統合関連費用を中心に、営業外費用を85百万円計上したことから、中間純利益は57億3百万円となりました。